

グローバル・ディスラプター 成長株ファンド

(資産成長型) / (予想分配金提示型)

追加型投信 / 内外 / 株式

ディスラプター(創造的破壊者)が 世界を一変させる

革新的な技術やビジネスモデルにより、既存の市場や業界秩序を破壊するほどの急成長を遂げる企業を「ディスラプター(創造的破壊者)」と呼ぶことがあります。

近年、AI(人工知能)やビッグデータなどのデジタル技術の飛躍的な進化を背景に、さまざまな分野でディスラプターが現れてきており、そのおかげでわたしたちの生活はより豊かなものになりました。いま、わたしたちは新型コロナウイルスの感染拡大、気候変動や格差の拡大など、さまざまな問題に直面しています。これらの危機を克服して持続可能な経済成長を実現していくことが求められているなかで、才能豊かなディスラプターの活躍の場はますます広がっていると考えられます。

ディスラプターへの投資^(P3)

ディスラプターが出現した市場は飛躍的なスピードで成長し、それとともにディスラプター企業の株価は大きく上昇してきました。技術は進化を続け、わたしたちの生活は変わり続けるでしょう。今後も新たなディスラプターが現れ続けることが期待されます。



良好なパフォーマンスを獲得するために 当ファンドの運用の3つのポイント

現実と期待を見極める

①有望な投資テーマの選定

(P9)

破壊的な変革がみこまれ、かつ期待感が上昇期にある投資テーマを複数選定。テーマは随時見直し、常に**旬なテーマ**の銘柄を組入れることをめざします。



目利きのチカラで差別化

②独自の銘柄選定、IPOにも投資

(P13)

経験豊富な運用チームが多角的な企業分析に基づき、個別銘柄を選定。有望と判断する場合には**IPO(新規公開)**銘柄にも積極的に投資します。



攻めと守りの両立

③機動的なポジション調整

(P15)

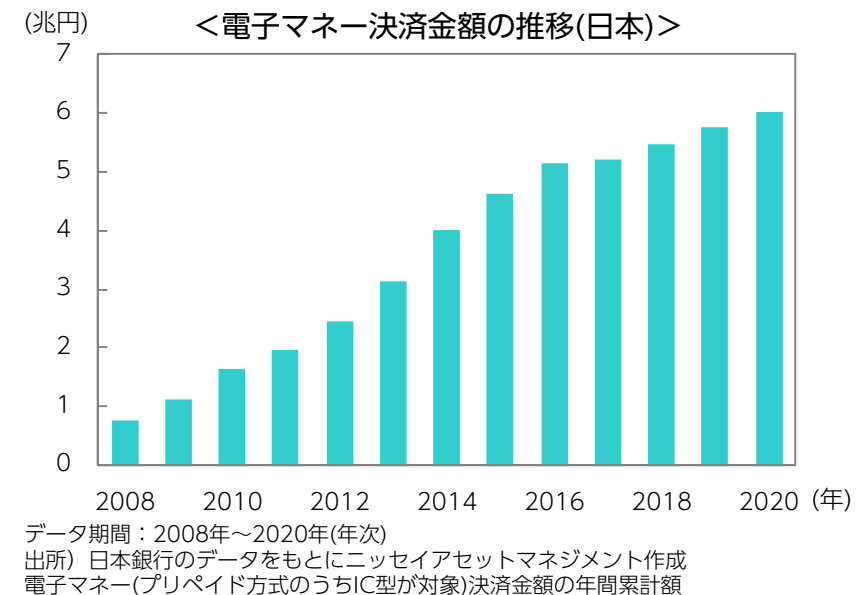
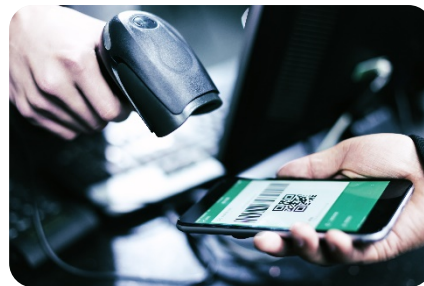
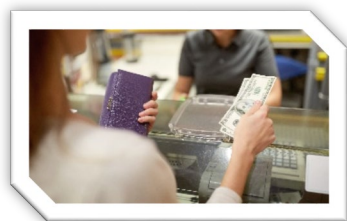
テクニカル分析を活用して、株式市場の急落が見込まれる場合には、**キャッシュ比率**を上げます。個別銘柄の組入比率も機動的に調整します。



身の回りで起きているディスラプション(創造的破壊)

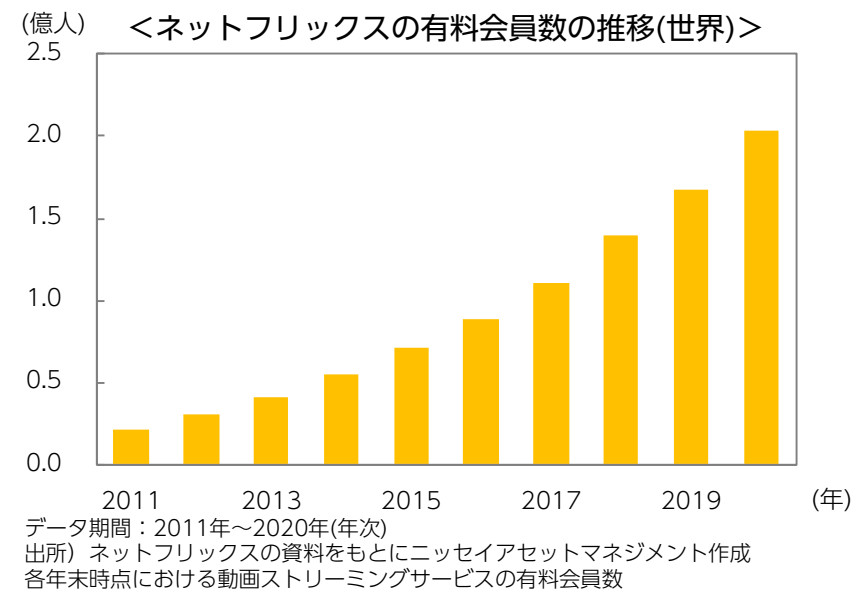
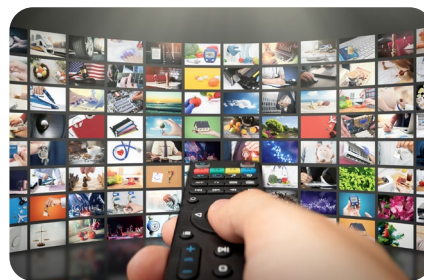
キャッシュレス決済

スマートフォンの普及などを背景に、キャッシュレス決済が増加。お金は現金で払うという常識が“破壊”されました。



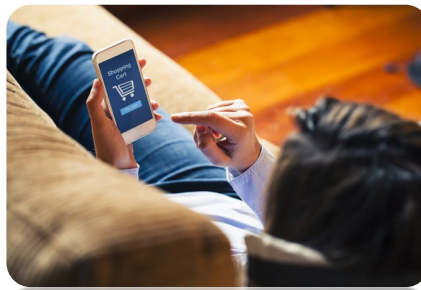
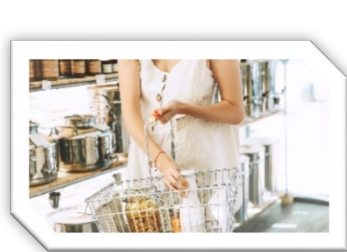
ストリーミングサービス

インターネット経由で映画、ドラマや音楽を楽しめます。店舗に足を運びDVDやCDをレンタルするという習慣が“破壊”されました。

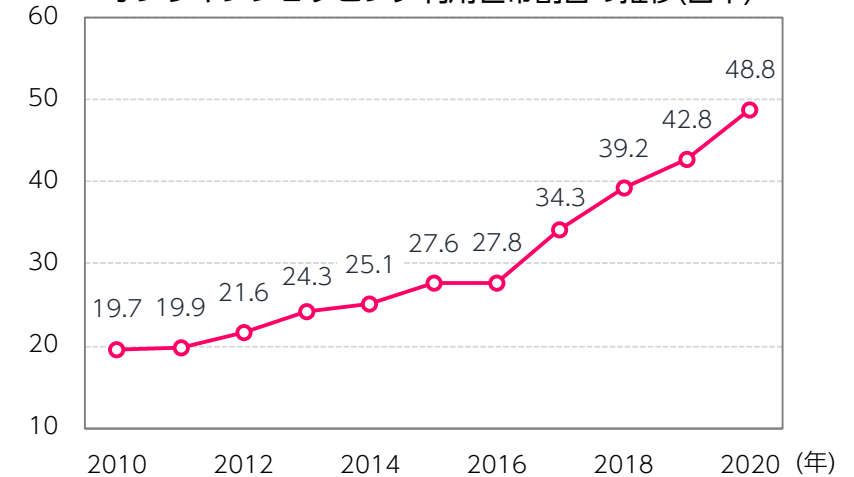


オンラインショッピング

いつでもどこでもインターネット経由で買い物して届けてもらえる生活に。買い物は店舗でするものという概念を“破壊”しました。



(%) <オンラインショッピング利用世帯割合の推移(日本)>



データ期間：2010年～2020年(年次)

出所) 総務省のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

2人以上世帯におけるオンラインショッピング利用世帯割合の12ヵ月単純平均

躍進するディスラプター企業の株価

ディスラプションが起きた市場は飛躍的なスピードで成長し、それとともにディスラプター企業の株価は大きく上昇してきました。



データ期間：2016年1月29日～2021年1月29日(日次)

出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

上記は特定の銘柄を推奨するものではなく、また当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。

当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

なぜディスラプターに投資するのか？ 進化は止まらない

10年前、会社へ行かずに自宅で仕事をする生活を考えましたか？ 20年前、スマートフォンでリアルタイムに連絡を取り合う毎日を想像しましたか？ 30年前、何もかもがインターネットとつながる未来を思い描いたでしょうか？

10年後、20年後、はたしてわたしたちは今と同じ生活を送っているのでしょうか？

<ディスラプターの活躍の例>

2000年～	2005年～	2010年～	2015年～
2000年 米グーグル 日本語での検索サービス開始  2000年 米アマゾン・ドット・コム 日本でのサービス開始 2001年 JR東日本 タッチ決済サービスSuica導入 2002年 ロボット掃除機ルンバ発売 2004年 米フェイスブック設立 2004年 中国アリババの子会社 アリペイがオンライン決済サービス 提供開始	2005年 YouTubeサービス開始  2006年 Twitterサービス開始 2007年 米ネットフリックス 動画ストリーミングサービス開始 2007年 米アップル 初代iPhone発売  写真：ロイター/アフロ 2008年 民泊仲介プラットフォーム 米Airbnb(エアビーアンドビー)設立 	2010年 米アップル 初代iPad発売 2010年 インスタグラムサービス開始 2011年 Web会議システム 米Zoom設立  2011年 LINEサービス開始  2012年 米テスラ 世界初の高級セダンタイプ電気自 動車モデルS発売	2015年 米アップル 初代AppleWatch発売 2016年 米ウーバー・テクノロジーズ 料理宅配サービス ウーバーイーツ 東京でのサービス開始  2017年 任天堂 Nintendo Switch(ニンテンドー スイッチ)発売 2019年 米ウォルト・ディズニー 動画配信「ディズニープラス」の サービス開始 

出所) 各種報道資料等をもとにニッセイアセットマネジメント作成

上記は特定の銘柄を推奨するものではなく、また当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。画像等はイメージです。

これから先、どのような未来が待っているのでしょうか？

<実用化が期待される技術革新の例>

MR(複合現実)



仮想と現実が融合した新たな空間

自動運転



システムが全ての運転を行う完全自動運転

無人宅配



ドローン等によるロボット宅配

スマート農業



ロボットや情報通信技術等を活用した農業

先端医療



AI(人工知能)やゲノム分析等を活用した医療

介護ロボット

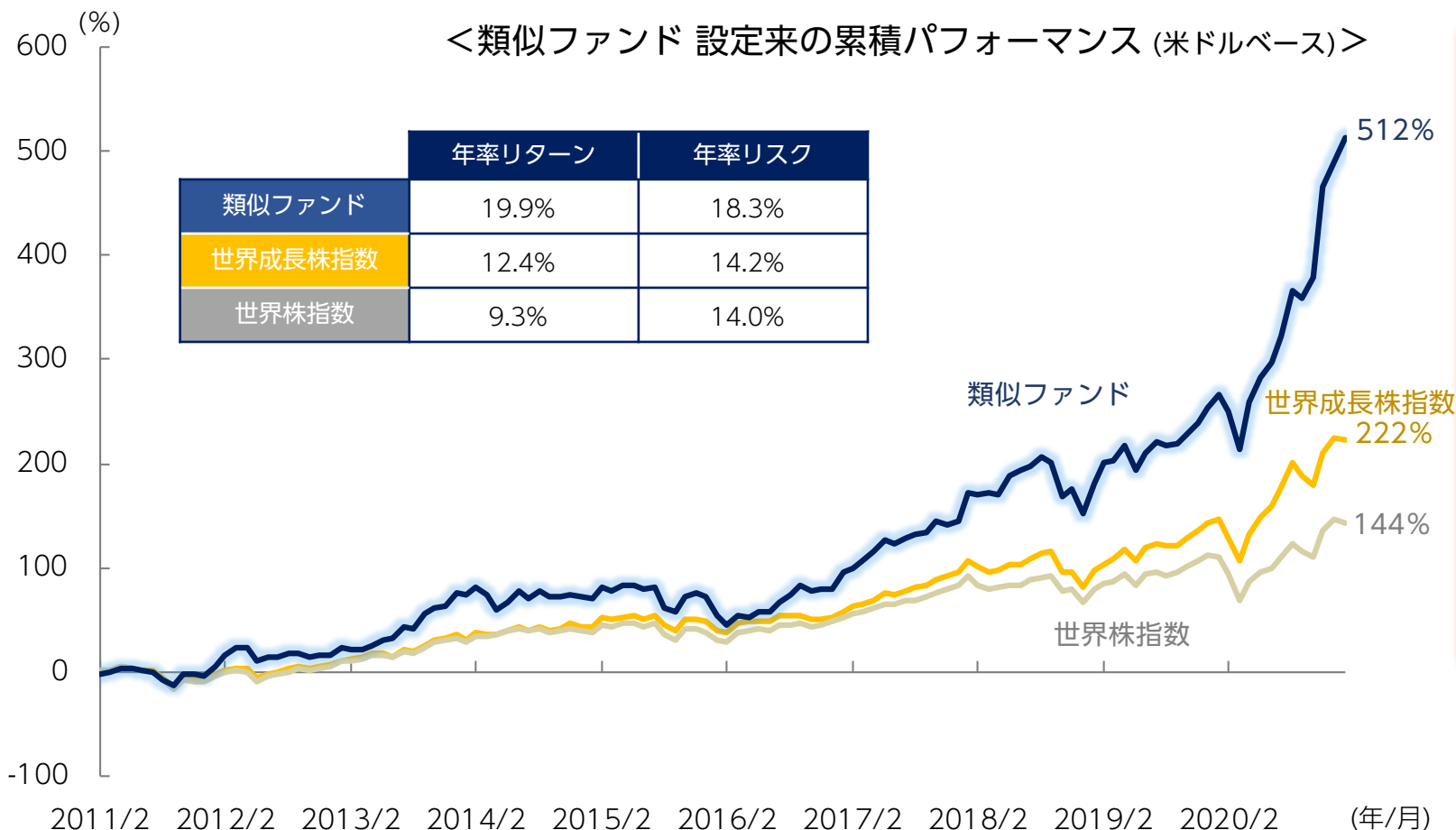


自律型ロボットによる介護

わたしたちの生活は変わり続けます。
進化をけん引するのは、いつの時代もディスラプターです。

卓越したパフォーマンスを示す類似ファンド

当ファンドの類似ファンドは、株式指数を大きく上回る良好なパフォーマンスを示してきました。



データ期間：2011年2月1日＜設定日＞～2021年1月末(月次)

出所) FactSet、GAMのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

世界成長株指数：MSCIワールド・グロース・インデックス(配当込み、米ドルベース)、世界株指数：MSCIワールド・インデックス(配当込み、米ドルベース)

モーニングスター・ランキングは、過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

上記の類似ファンドの運用実績は、当ファンドの主要投資対象である「GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド」と同じ運用チームが同じテーマで運用する「GAMスター・ディスラプティブ・グロース」のパフォーマンス(報酬等コスト控除前)を示したものです。当ファンドや当ファンドの主要投資対象ファンドの運用実績ではありませんので、あくまでご参考としてお考えください。

＜ご参考＞
**モーニングスター・
ランキング**
大型成長株ユニバース※
内の比較(過去5年)

年率リターン
ランキング
👑**1位**/231本中

シャープレシオ
ランキング
👑**1位**/231本中

(2021年1月末時点)

※純資産総額10百万米ドル以上の
UCITSファンド(ファンド・オブ・
ファンズ除く)

特徴ある類似ファンドのポートフォリオ

メリハリのあるポートフォリオ – 指数にとらわれすぎない攻めの姿勢 –

＜類似ファンドのオーバーウェイト銘柄とアンダーウェイト銘柄＞

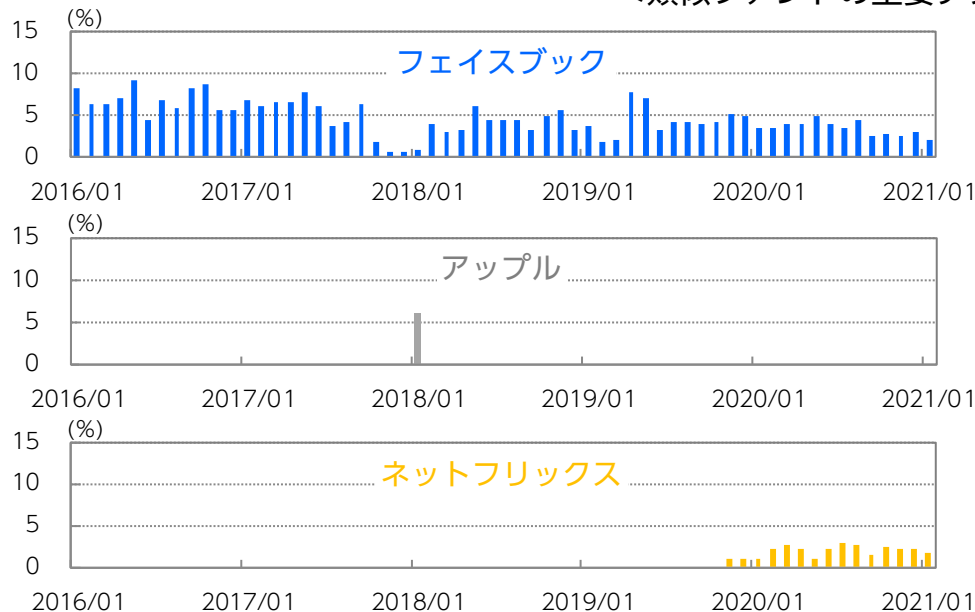
銘柄名	オーバーウェイト上位5銘柄 (単位：%)		
	類似ファンドの組入比率 (A)	世界成長株指数の組入比率 (B)	アクティブウェイト (A)－(B)
アフィニティC	4.1	－	4.1
マーベルテクノロジー	4.1	0.1	3.9
マイクロンテクノロジー	3.9	－	3.9
マイクロストラテジー	3.6	－	3.6
ファナック	3.2	－	3.2

銘柄名	アンダーウェイト上位5銘柄 (単位：%)		
	類似ファンドの組入比率 (A)	世界成長株指数の組入比率 (B)	アクティブウェイト (A)－(B)
アップル	－	8.9	-8.9
アマゾン・ドット・コム	1.4	5.4	-4.0
マイクロソフト	3.1	6.6	-3.5
テスラ	－	2.3	-2.3
ビザ	－	1.3	-1.3

2021年1月末時点、世界成長株指数：MSCIワールド・グロース・インデックス

主要大型銘柄に頼らない – 銘柄選定と機動的なポジション調整が差を生む –

＜類似ファンドの主要テクノロジー銘柄の組入比率＞



どのようにして好パフォーマンスを生み出す
特徴的なポートフォリオを構築しているのか？
運用の3つのポイントを次ページ以降で説明します。

データ期間：2016年1月末～2021年1月末(月次)

出所) FactSet、GAMのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

上記は類似ファンドの運用状況を示したものです。当ファンドの運用状況ではありませんので、あくまでご参考としてお考えください。類似ファンドの詳細についてはp7をご参照ください。

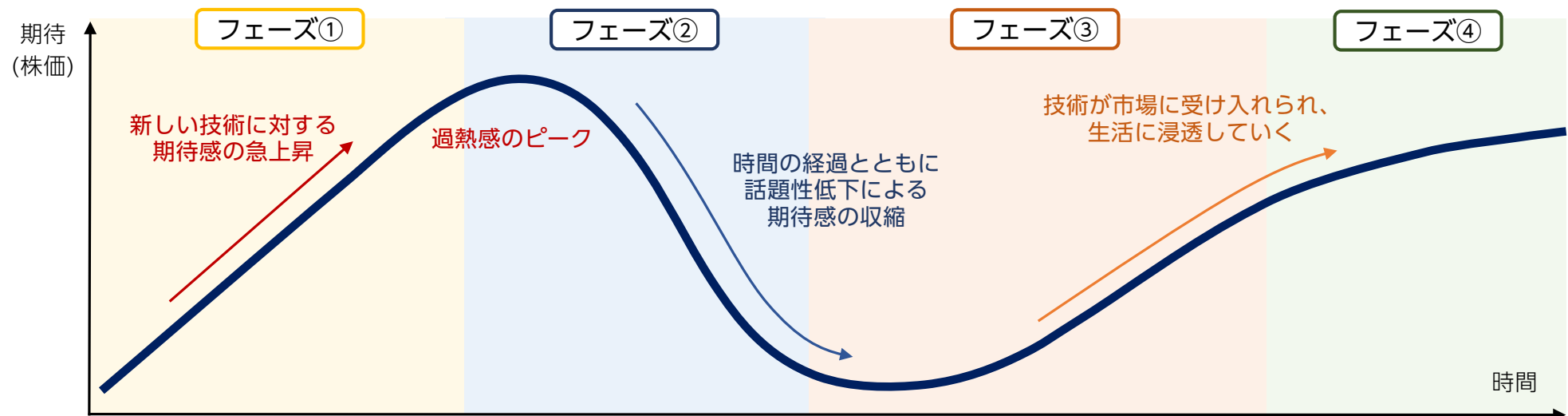
現実と期待を見極める 有望な投資テーマの選定

常に旬なテーマの銘柄を組入れ、長期的に利益の積み上げをめざす

技術革新によりディスラプション(創造的破壊)が起きてから浸透するまでの間には、1つのサイクルがあると考えられます。当ファンドでは、米国のガートナー社が唱える「ハイプ・サイクル」や、ブローカー情報、運用チームの業界での幅広い人脈等を駆使、融合することで、破壊的な変革がみこまれ、かつ期待感が上昇期にある投資テーマを複数選定します。テーマは随時見直しを行い、常に旬なテーマの銘柄を組入れることをめざします。投資環境が変化しても、長期的に利益を積み上げていくことが期待できます。

(ハイプ：誇張、誇大広告などの意味)

<ガートナー・ハイプ・サイクル等を活用したトップダウンアプローチのイメージ>



フェーズ	①期待の先行上昇期	②期待収縮期	③技術の啓蒙期	④安定浸透期
投資判断	買い	売り	買い	売り
技術革新の例	・ブロックチェーン ・ヒューマノイド(人型ロボット) ・水中・飛行ロボット ・ヘルスパスポート ・責任あるAI ・機械学習 ・プライベート5G ・DNAコンピューティング/ストレージ	・AI ・仮想通貨 ・電気自動車	・Eコマース(電子商取引) ・プラットフォーム ・SaaS(ソフトウェア アズ ア サービス) ・再生可能エネルギー ・自動化技術 ・リモート工場 ・クラウド ・デジタルヘルスケア ・スマート物流(無人宅配) ・リモート手術	・スマートフォン ・ソフトウェア ・ハードウェア

出所) GAMの資料をもとにニッセイアセットマネジメント作成

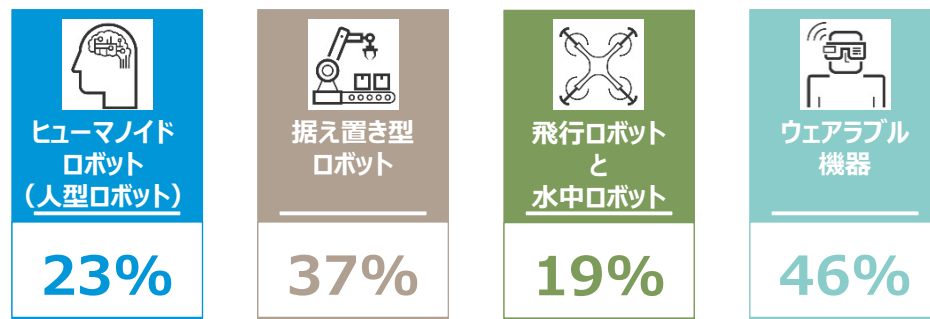
上記の図表はあくまでご理解を深めていただくために作成したイメージであり、上記のケースが当てはまらないことや、実際に投資しているテーマや銘柄と一致しないことがあります。

注目する投資テーマ (1)

知識労働の自動化

専門的な知識を必要とする労働分野でもAIやロボットを活用した自動化が進んでいくものと予想されます。自動化は数年前から話題になっているものの、本格的な導入はこれから始まるものと考えています。

<2022年までに自動化を導入する企業の割合>



出所) 世界経済フォーラム「Future of jobs Report 2018」をもとにニッセイアセットマネジメント作成

参考銘柄のご紹介 マイクロストラテジー(米国)

Disrupt 複雑多様、多数のデータを瞬時に

BI(ビジネスインテリジェンス)ツールを提供するソフトウェアメーカー。BIツールとは、蓄積された様々なデータを集積・分析・加工し、企業の意思決定をサポートするツールです。

同社の提供するBIツールは、AIを活用しデータの集計・可視化だけでなく、未来の予測分析シミュレーションまで行うことができ、ひとつひとつ手作業で行われていた重要情報の取りまとめが瞬時に可能となりました。

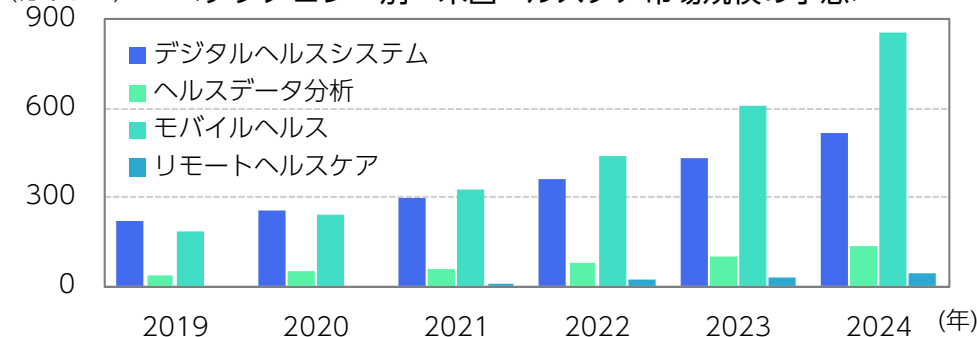


出所) 各社IR資料等をもとにニッセイアセットマネジメント作成 上記は特定の銘柄を推奨するものではなく、また当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。画像等はイメージです。

デジタルヘルスケア

最近ではウェアラブル端末に健康管理機能が付いているものも多く、ヘルスケア分野のビッグデータにも注目が集まります。また遠隔地でのオンライン診療やロボットを活用した遠隔手術への期待も生まれています。

(億米ドル) <テクノロジー別・米国ヘルスケア市場規模の予想>



出所) スタティスタのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成 2018年時点の予想値

参考銘柄のご紹介 インテュイティブ・サージカル(米国)

Disrupt 遠く離れた場所でも、高度な手術が受けられる未来

遠隔手術支援ロボットのパイオニア。内視鏡手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」による手術の症例数は世界で約600万例、トレーニングを修了した医師は約4万4,000人に上ります。今後5G(高速通信規格)の普及によって、精度の高い作業を時間差なく行えるようになれば、専門の医師が不足する地域でも、遠く離れた地からオンラインでの遠隔手術が可能となり、医療格差の是正にも繋がると期待されます。



注目する投資テーマ (2)

次世代輸送

輸送システムは自動車の量産が始まった1900年代初以来の変革期を迎えているといっても過言ではないでしょう。今後、自動車のIoT(モノのインターネット)化や完全自動運転が実現することで、MaaS(モビリティ・アズ・ア・サービス)やLaaS(ロジスティクス・アズ・ア・サービス)といった新たなテクノロジーの進展も期待できます。

マース MaaS	バスや電車、タクシー、飛行機など、すべての交通手段による移動を1つのサービスに統合し、ルート検索から支払いまでをシームレスにつなぐ概念。
ラース LaaS	IoTやAIを駆使し、物流の最適化を図る概念。最適なルートの選択やロボット・ドローンを活用した運送など物流の効率化・省人化が可能となります。

参考銘柄のご紹介

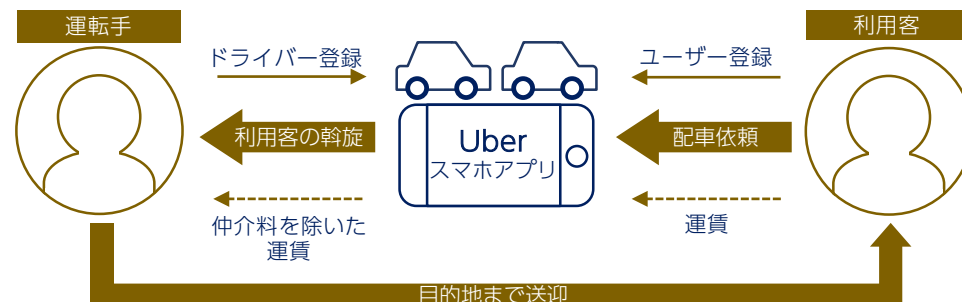
ウーバー・テクノロジーズ(米国)

世界60カ国以上でライドシェアリングサービスを展開。その他に、料理宅配サービス「Uber Eats」も展開しています。

Disrupt 新たな移動スタイルを提供する次世代プラットフォーム

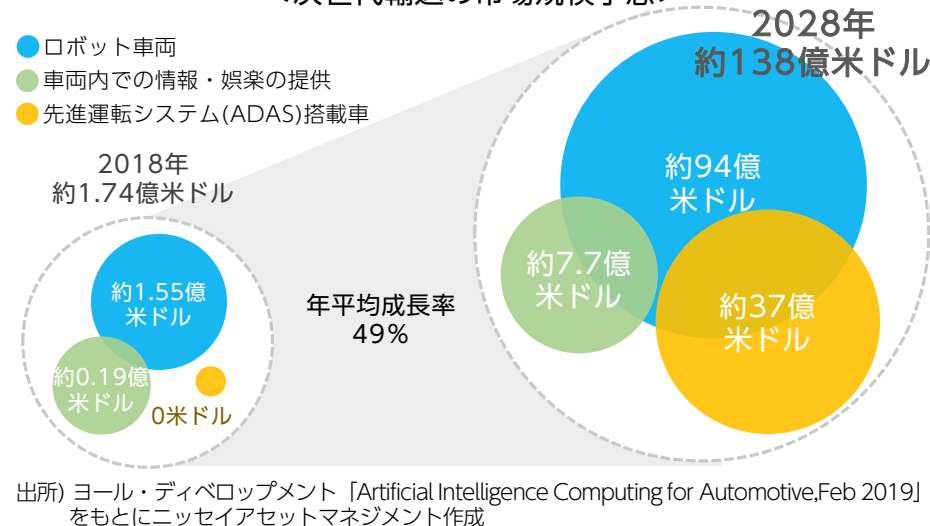
ライドシェアリングサービスとは・・・

配車から決済までワンストップで行えるサービス。日本ではUberで配車できるのはタクシーのみですが、米国等では一般ドライバーが運転する車も配車可能となっています。世界では、自動運転車の参入も試験的にスタートしています。



出所) 各社IR資料等をもとにニッセイアセットマネジメント作成 上記は特定の銘柄を推奨するものではなく、また当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。画像等はイメージです。

<次世代輸送の市場規模予想>



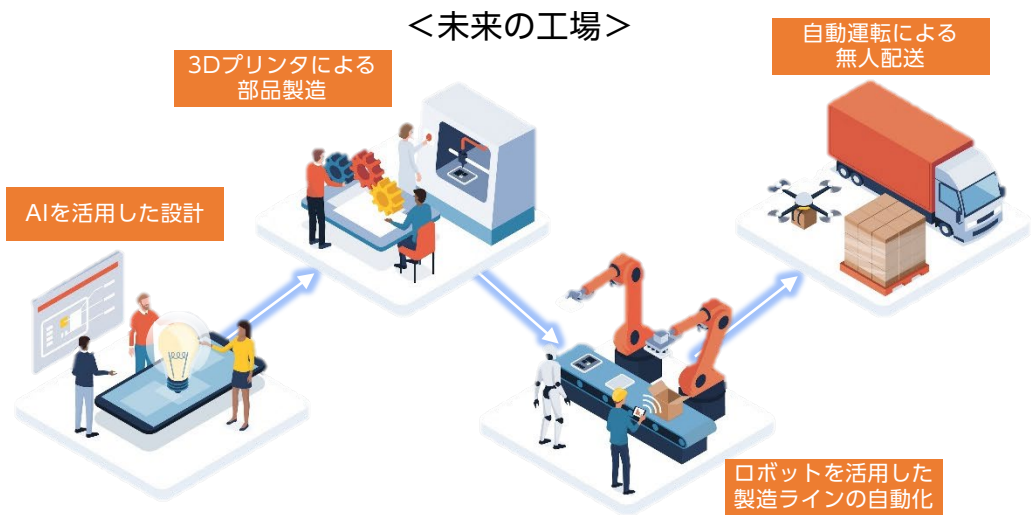
注目する投資テーマ (3)

工場の自動化

工作機械や生産ラインといった各種設備をネットワーク接続し、AIやロボットを活用することで作業工程の自動化や情報管理の効率化、運営の最適化が期待されます。

工場の自動化で期待される効果

データの見える化	工場内の現状を把握し、あらゆるデータを収集・分析しデータの見える化が可能。
材料投資・設備管理の最適化	データに基づいた在庫の管理やあらゆる作業の自動化、AIによる空調設備の調整など材料投資・設備管理の最適化が可能。
人材不足の解消	AIに製品の可否判断や故障の検知などを管理させることも可能。自動化による省人化の実現。



参考銘柄のご紹介

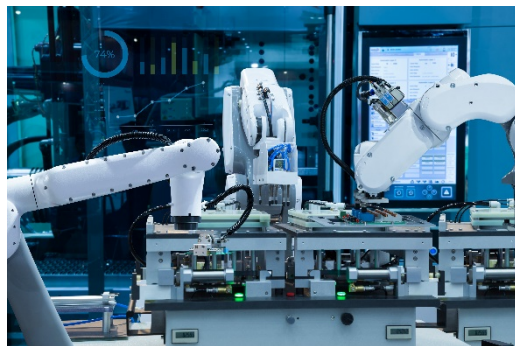
キーエンス(日本)

工場の自動化を図るFA(ファクトリー・オートメーション)機器等を手掛けるFA総合メーカー。フォーブス誌「世界で最も革新的な企業TOP100」に8年連続(2011年～2018年)ランクイン。

Disrupt

目指すは完全自動化、人のいない工場

FA(ファクトリー・オートメーション)とは、生産工程の自動化を図るシステムの総称のことを指します。同社は、人の目にあたるセンサが最も重要な役割を担うとし、センサを中心としたFAシステムの研究、開発、設計、製造を行っています。



技術革新により、工場の省人化や生産性の向上、コストダウンは進んでいますが、究極のFAは完全無人の工場であるとして、その実現に向けてチャレンジを続けています。

＜株価推移＞



出所) 各社IR資料等をもとにニッセイアセットマネジメント作成 上記は特定の銘柄を推奨するものではなく、また当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。画像等はイメージです。

目利きのチカラで差別化 独自の銘柄選定、IPO銘柄にも投資

多角的な企業分析に裏打ちされた銘柄選定力

業界リサーチ、企業訪問、ファンダメンタルズ分析等を組み合わせた企業分析に基づき、GAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドが個別銘柄を選定します。経験豊富な自社運用チームのみならず、企業調査に定評のあるサードブリッジの情報を有効に活用します。

また、当ファンドでは、有望と判断する場合にはIPO銘柄にも積極的に投資する方針です。IPO銘柄は、過去の株価の値動きが見えず、上場銘柄に比べて情報が少ないため、一般的に企業分析の難易度が高いと言われています。

<多角的な企業分析の例>

業界リサーチ	企業訪問	ファンダメンタルズ分析	ESG
専門家とのネットワークミーティング／コール	1対1の企業ミーティング	DCF(ディスカウントキャッシュフロー)モデルによる適正株価	ESG(環境・社会・ガバナンス)についての評価

～4,000社超の株式を幅広くカバーする調査集団～
サードブリッジ・グローバル・リミテッド

本社所在地：ロンドン 社員数：1,000名超
ビジネス拠点：ロンドン、ニューヨーク、ロサンゼルス、
上海、北京、香港、ムンバイ

- ・様々な業界やマーケットに関する洞察・知見・インテリジェンスといった情報を提供するというビジョンのもと、2007年に設立された調査会社グループ。
- ・ヘッジファンドやアセット・マネジメントなどの運用会社等に対し、リサーチ情報、業界専門家とのコンタクト機会を提供。

IPOとは・・・

「Initial Public Offering」の略で、未上場企業が、新規に株式を証券取引所に上場し、投資家に株式を配分することをいいます。

企業は、上場することで幅広く資金調達することが可能となることに加え、知名度向上によって社会的な信用を高められるといったメリットがあります。近年は上場時の初値が公募価格を上回ることも多く、投資家からの人気も高い傾向にあります。

<ご参考：類似ファンドのIPO銘柄への投資状況>

2018年	2019年	2020年
6銘柄	—	8銘柄

出所) GAMのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

上記は類似ファンドの運用状況を示したものです。当ファンドの運用状況ではありませんので、あくまでご参考としてお考えください。類似ファンドの詳細についてはp7をご参照ください。

ご参考：IPO銘柄への投資事例

類似 ファンドの 投資事例①

理想汽車（リ・オート、Li Auto Inc.）

2020年7月 NASDAQ上場、同年11月に目標株価達成で売却
(投資期間：約4ヵ月間)

- ・2015年設立の電気自動車メーカー(中国)。
- ・「Li ONE」ブランドの電気自動車スポーツ・ユーティリティ・ビークル(SUV)の設計・開発・製造・販売を行う。

<投資判断に至るプロセス>

理想汽車/専門家とのミーティング

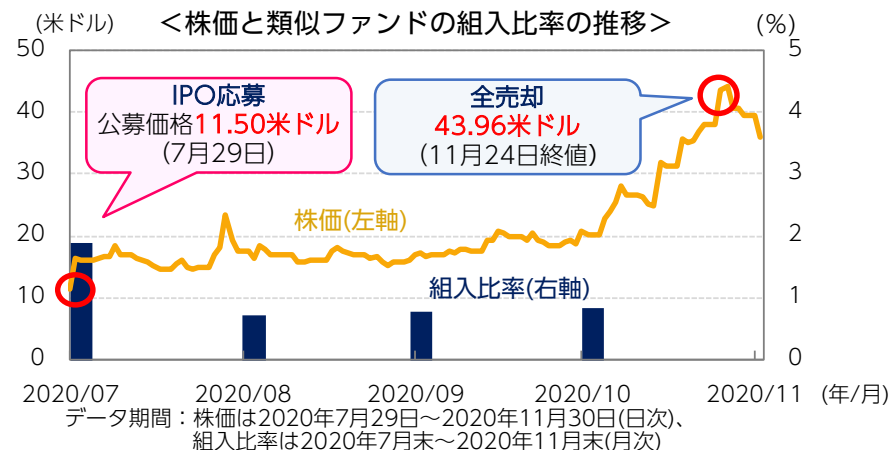
- ・理想汽車との1対1ミーティングを実施。その後、サードブリッジの専門家ネットワークを利用して業界専門家とカンファレンス・コールを複数回実施。
- ・複数の投資銀行及びIPOアナリストとの意見交換。

ファンダメンタルズ分析・財務モデル

- ・上記のミーティングで得た情報・データ・知見・財務諸表等を基に、複数のシナリオで財務モデルを作成。

投資判断

- ・大幅な株価上昇が期待できると判断し、IPOに応募。
- ・IPOで投資した約4ヵ月後に、目標株価を達成し、全売却。



類似 ファンドの 投資事例②

KEホールディングス（KE Holdings Inc.）

2020年8月 ニューヨーク証券取引所上場、約3週間後に目標株価
達成で売却(投資期間：約3週間)

- ・2018年設立のオンライン不動産取引プラットフォーム運用会社(中国)。
- ・不動産物件データのデジタル化を行い、巨大なデータベースを作り上げ、カスタマイズ検索やバーチャル・リアリティ(VR)内見など革新的なサービスを導入。

<投資判断に至るプロセス>

KEホールディングス/専門家とのミーティング

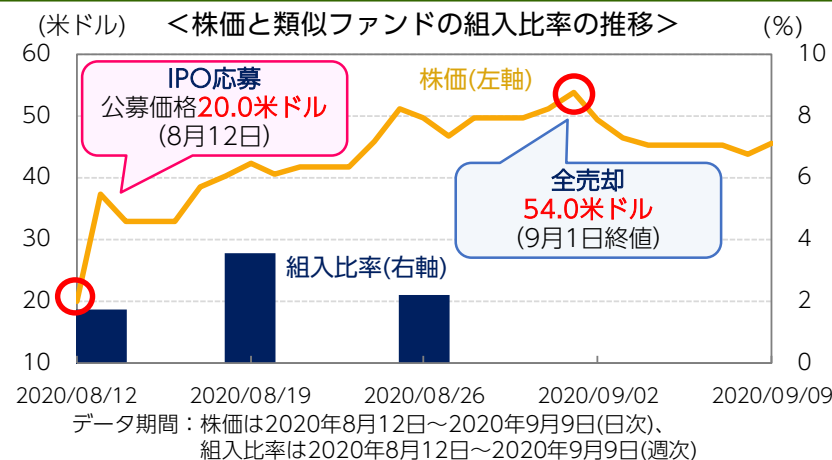
- ・KEホールディングスの経営陣とのミーティングを実施。
- ・サードブリッジの専門家ネットワークを利用し、業界専門家とカンファレンスコールを複数回実施。

ファンダメンタルズ分析・財務モデル

- ・上記のミーティングで得た情報・データ・知見・財務諸表等を基に、複数のシナリオで財務モデルを作成。

投資判断

- ・大幅な株価上昇が期待できると判断し、IPOに応募。
- ・IPOで投資した約3週間後に、目標株価を達成し、全売却。



出所) GAM、ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

上記は類似ファンドの運用状況を示したものです。当ファンドの運用状況ではありませんので、あくまでご参考としてお考えください。類似ファンドの詳細についてはp7をご参照ください。

攻めと守りの両立 機動的なポジション調整

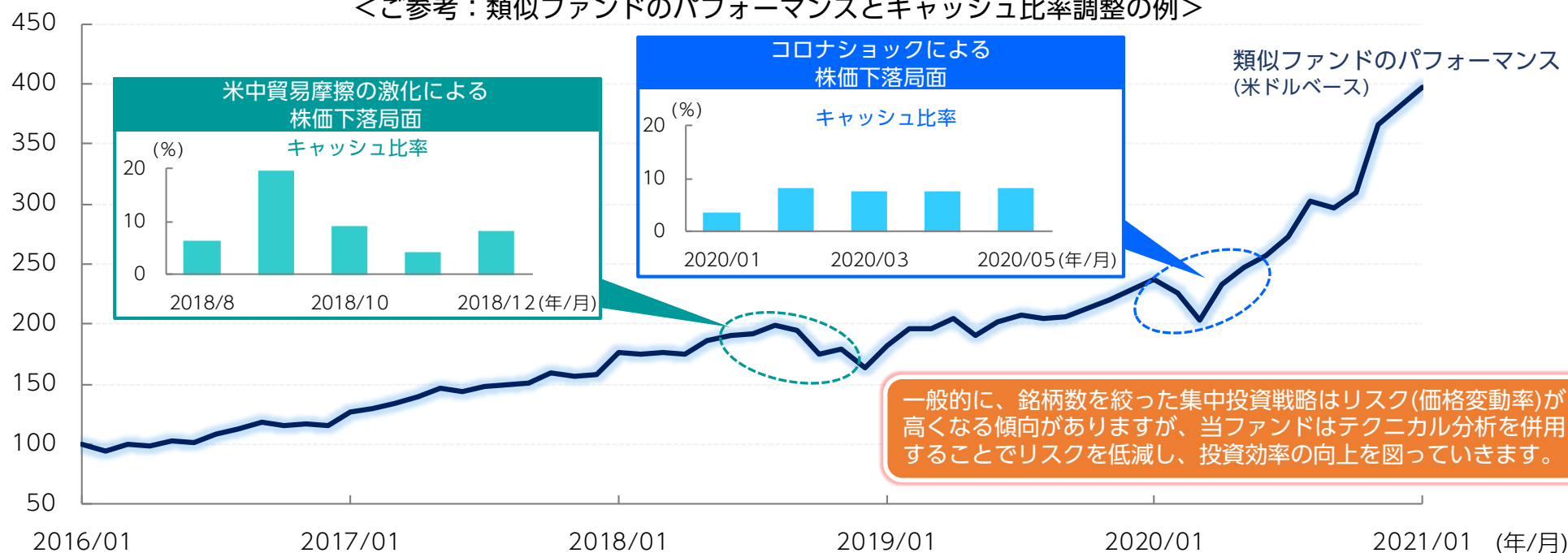
テクニカル分析を活用したポジションのダイナミックな変更と売買タイミングの決定

運用チームに配置されているテクニカル分析のエキスパートが、ポジションのダイナミックな変更と売買タイミングの決定をけん引します。株式市場の急落が見込まれる場合には、機動的にキャッシュ比率を引き上げる方針です。中長期的に利益成長が見込まれる銘柄であっても、過度に上昇したと判断される局面では組入比率を引き下げるなど、ポジションを機動的に調整します。投資テーマの選定、企業分析にテクニカル分析を併用することで、リターン向上とリスクの抑制を図っています。

<エキスパートによるテクニカル分析の例>

株価変動のスピードと方向性	取引ボリューム	フェア・バリュー分析
・トレンド予想 ・モメンタム分析による市場の過熱感 ・過去の経験則	・株式及びオプション含めたデリバティブ取引量の分析 ・市場参加者の心理分析 ・資金インフロー&アウトフロー	・適正株価の分析

<ご参考：類似ファンドのパフォーマンスとキャッシュ比率調整の例>



出所) GAMのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

データ期間：2016年1月末～2021年1月末(月次) 2016年1月31日を100として指数化

上記は類似ファンドの運用状況を示したものです。当ファンドの運用状況ではありませんので、あくまでご参考としてお考えください。類似ファンドの詳細についてはp7をご参照ください。

ご参考：積極的な銘柄入替とポジション調整

積極的な銘柄入替とポジション調整を反映して、売買回転率は相対的に高くなることが見込まれます。

＜類似ファンドの組入上位10銘柄の変遷と売買回転率＞

2020年3月末		2020年6月末		2020年9月末		2020年12月末	
組入順位	企業名		企業名		企業名		企業名
1	マイクロソフト		マイクロソフト		イントゥイティブ・サージカル		アフィニティC
2	アマゾン・ドット・コム		アマゾン・ドット・コム		アリババ・グループ		マイクロテクノロジー
3	プラス500		アリババ・グループ		マーベル・テクノロジーズ		マイクロストラテジー
4	イントゥイティブ・サージカル		プラス500		プラス500		ウォルト・ディズニー
5	フェイスブック		フェイスブック		エクスペディア・グループ		ファナック
6	アルファベットA		アカマイ・テクノロジーズ		フェイスブック		ダダ・ネクスス・リミテッド
7	アリババ・グループ		BTグループ		クラウドフレア		アルファベットA
8	シーゲイト・テクノロジー		アルファベットA		コストコ・ホールセール		フェイスブック
9	ネットフリックス		マイクロテクノロジー		アルファベットA		PTC
10	コストコ・ホールセール		ファナック		ブーバー・ドット・コム		ウーバー・テクノロジーズ

売買回転率：236.9% (2020年)

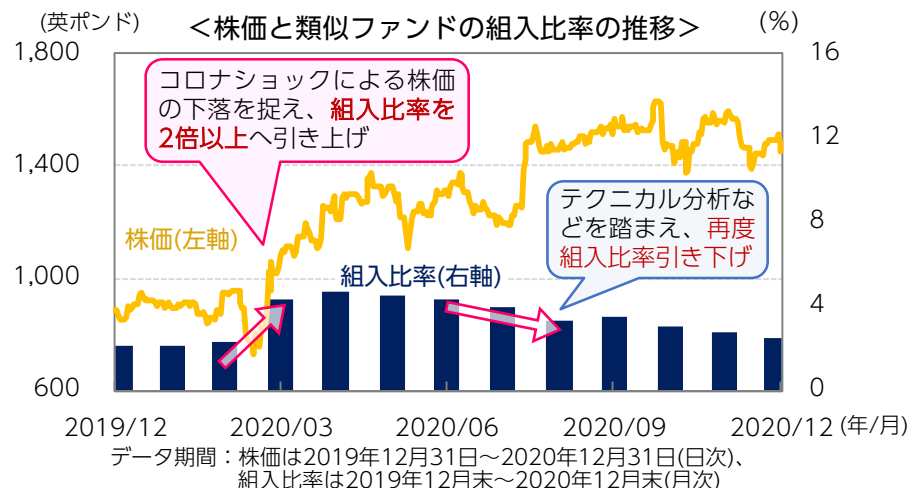
テクニカル分析を活用した類似ファンドの投資事例

プラス500 (Plus500 Ltd.)

- 2008年にイスラエルで設立された金融サービス会社
- 英国金融行為規制機構(FCA)認可のFX・差金決済取引(CFD)の大手オンライン・ブローカー。投資家向け取引プラットフォームの運営を行い、CFDサービスを通じて、株式、外国為替、指数、ETFなどの金融商品を提供する。

＜当該銘柄の2020年寄与度の要因分析(概算)＞

リターンへの寄与度	ウェイト変更なしの場合	ポジション調整効果
+3.9%	+1.4%	+2.5%



出所) ブルームバーグ、GAMの資料をもとにニッセイアセットマネジメント作成

上記は類似ファンドの運用状況を示したものです。当ファンドの運用状況ではありませんので、あくまでご参考としてお考えください。類似ファンドの詳細についてはp7をご参照ください。

ファンドの特色



1. 日本を含む世界の株式のなかから、既存の市場を破壊しうる革新的な技術・ビジネスモデルを有し、株価上昇が期待できる成長企業の株式に厳選して投資します。

- 実質的な組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジ※を行いません。
※為替ヘッジとは、為替変動による資産価値の変動を回避する取引のことをいいます。
- 中長期的にMSCIワールド・グロース・インデックス(配当込み、円ベース)を上回る投資成果を獲得することをめざします。
- 当ファンドは、「GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」を投資対象とするファンド・オブ・ファンズ※方式で運用を行います。株式の実質的な運用は、GAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドが行います。
※ファンド・オブ・ファンズとは、投資対象を投資信託証券とするファンドです。
- 「GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド」の組入比率は、原則として高位を保ちます。
- 株式市場が大幅に下落する可能性が高いと判断する場合には、「GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド」内で株式の組入比率を引き下げることがあります。

GAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドについて

GAMインターナショナル・マネジメント・リミテッド(所在地：ロンドン)は、専門的なアクティブ運用に強みを有するGAMグループの資産運用会社の1つです。1983年に設立されたGAMグループは、スイスを本拠に世界14ヵ国に拠点を構える資産運用グループで、2020年9月末現在の運用資産総額は約1,204億スイスフラン(約13.8兆円、1スイスフラン=114.86円で円換算)です。

ファンドの特色

2. 決算頻度および分配方針の異なる2つのファンドから選択いただけます。

<資産成長型>

年1回決算を行います。信託財産の十分な成長に資することに配慮し、分配を抑制する方針です。

- 毎年4月25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。

<予想分配金提示型>

毎月決算を行い、決算日の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。

- 毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。
- 収益分配方針に基づき、決算日の前営業日の基準価額(1万口当り。支払い済みの分配金累計額は加算しません)に応じて、以下の金額の分配を行うことをめざします。

決算日の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当り、税引前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

- ・ 決算日の前営業日から決算日まで基準価額が急激に変動した場合等には、左記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。
- ・ 基準価額の値上がりにより、該当する分配金テーブルが分配金の支払い準備のために用意していた資金を超える場合等には、テーブル通りの分配ができないことがあります。
- ・ 基準価額に応じて、毎月の分配金額は変動します。基準価額があらかじめ決められた水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。
- ・ 分配を行うことにより基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期決算以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。

- ・ 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。

■ 将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。

- ・ 販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。

投資リスク

※ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。



基準価額の変動要因

- ファンド(指定投資信託証券を含みます)は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。

主な変動要因

株式投資リスク	株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化(倒産に至る場合も含む)等により、価格が下落することがあります。
為替変動リスク	原則として対円での為替ヘッジを行わないため、外貨建資産については、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。
カントリーリスク	外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。特に、新興国の経済状況は先進国経済と比較して一般的に脆弱である可能性があり、ファンドの資産価値が大きく減少したり、運用方針にそった運用が困難になる可能性があります。
流動性リスク	市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。

・基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

<ご留意いただきたい事項>

- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のもthingとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- 当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、資金動向、市況動向等によっては方針通りの運用ができない場合があります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- MSCI各種指数は、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 資料中の画像等はイメージをお伝えするものです。

分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

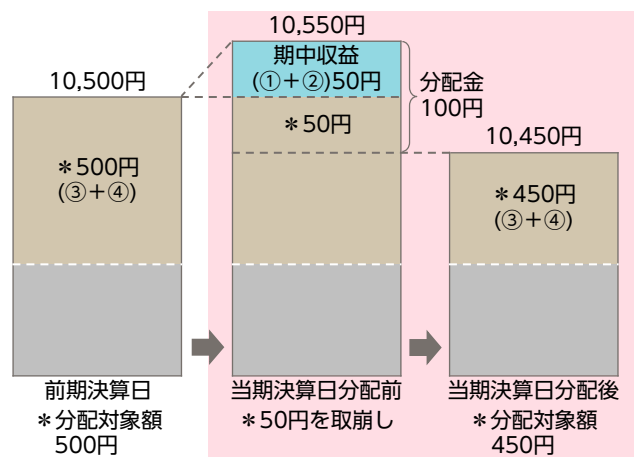
ファンドで分配金が支払われるイメージ



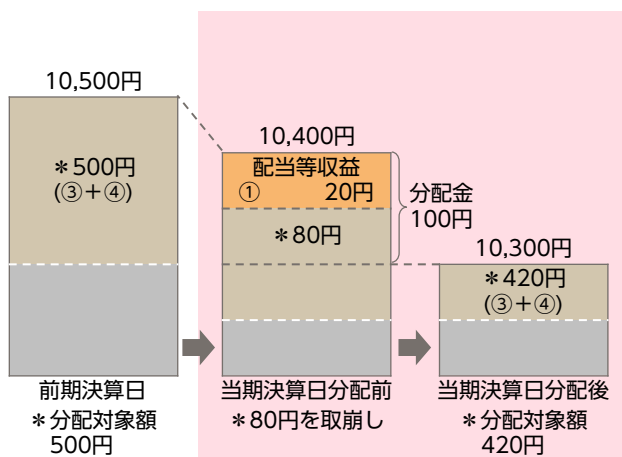
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



※分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、収益分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

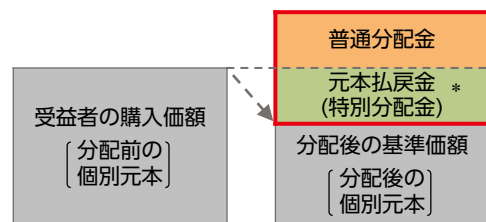
分配準備積立金: 期中収益(①および②)のうち、当期の分配金として支払われず信託財産に留保された金額をいい、次期以降の分配金の支払いにあてることができます。

収益調整金: 追加型株式投資信託において追加設定が行われることによって、既存の受益者の分配対象額が減らないようにするために設けられた勘定です。

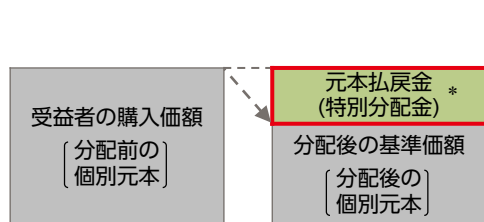
※左記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



*実質的に元本の一部払戻しに相当する元本払戻金(特別分配金)が支払われると、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金: 個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

※普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ



購入価額	①当初申込期間：1口当り1円とします。 ②継続申込期間：購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として7営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として毎営業日の午後3時までに販売会社の手続きが完了したものを当日受付分とします。
申込不可日	次のいずれかの休業日と同日の場合は、購入・換金の申込みの受け付けを行いません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、ロンドン証券取引所、ロンドンの銀行、ケイマンの銀行
購入の申込期間	①当初申込期間：2021年4月8日～2021年4月23日 ②継続申込期間：2021年4月26日以降
信託期間	2031年4月25日まで(設定日：2021年4月26日)
繰上償還	委託会社はあらかじめ受益者に書面により通知する等の手続きを経て、ファンドを繰上償還させることがあります。
決算日	資 産 成 長 型：4月25日 予想分配金提示型：毎月25日 ●該当日が休業日の場合は翌営業日となります。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。

■ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用			
購入時	購入時手数料 (1万口当り)	購入申込受付日の翌営業日の基準価額(当初申込期間：1口当り1円)に 3.3%(税抜3.0%) を 上限 として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。 ●料率は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。	
換金時	信託財産留保額	ありません。	
投資者が信託財産で間接的に負担する費用			
毎日	運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年率1.1825%(税抜1.075%)をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。	
		投資対象とする 外国投資信託証券	基本報酬 外国投資信託証券の純資産総額に年率0.715%程度をかけた額となります。 成功報酬 運用実績が良好であった場合にかかります。 ●年間最低基本報酬額等がかかる場合、純資産総額等によっては年率換算で上記の基本報酬の料率を上回ることがあります。成功報酬の詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。なお、これらの報酬は同証券からご負担いただきます。
		実質的な負担	ファンドの純資産総額に 年率1.8975%(税込)程度 をかけた額に 成功報酬 を加えた額となります。 ●上記料率は目安であり、各指定投資信託証券への投資比率が変動することにより、投資者が負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は変動します。また、外国投資信託証券に年間最低基本報酬額等がかかる場合、その純資産総額等によっては年率換算で上記の料率を上回ることがあります。成功報酬は、ファンドが投資対象とする外国投資信託証券において、その運用実績が良好であった場合にかかる費用です。
	監査費用	ファンドの純資産総額に年率0.011%(税抜0.01%)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。	
随時	その他の費用・手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。	

■当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。

- 委託会社(ファンドの運用の指図を行います)：ニッセイアセットマネジメント株式会社
コールセンター 0120-762-506 (9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く) ホームページ <https://www.nam.co.jp/>
- 受託会社(ファンドの財産の保管および管理を行います)：三菱UFJ信託銀行株式会社

G L O B A L D I S R U P T O R

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込は



商 号 等：東海東京証券株式会社
金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は



商 号 等：ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、
一般社団法人日本投資顧問業協会